

パブリックコメントを受けての変更点

- ・ 青字 ~~————~~ 変更前
- ・ 赤字 ~~————~~ 変更後

基本施策〔3〕歴史を活かす

本市には、「亀塚古墳」や「古宮古墳」、「高崎城跡」や「元町石仏」、「府内城跡」「今市の石畳」や坂本龍馬が歩いたとされる「肥後街道」、「後藤家住宅」「池見家住宅」をはじめとする歴史的建築物など、古代・中世・近世・近代を通じた歴史遺産が多く存在します。

また、400年にわたり豊後の地を治めた「大友氏」に関連する神社仏閣や山城、古戦場などの遺跡や、宗麟公ゆかりの鶴崎踊や聖フランシスコ・ザビエルの足跡、キリシタン・南蛮文化などの歴史・文化遺産があります。

今後は、歴史・文化遺産を観光資源として磨き上げるとともに、北部九州や県内の市町村などと連携し、歴史をテーマとした広域観光周遊ルートを造成するなどの新たな魅力の創出に取り組みます。

①歴史を活かしたテーマ別観光周遊ルートづくり

古代・中世・近世などそれぞれの時代や、山城や磨崖仏などテーマごとの観光周遊ルートを造成します。

また、広域に分布する遺跡をテーマとして、関係自治体と連携した広域観光周遊ルートを造成します。

②大友氏 400 年の歴史や遺産を活かしたプロモーション

整備の進む国指定史跡「大友氏遺跡」を核とし、大友氏 400 年の遺跡の観光資源化を図るとともに、キリシタン・南蛮文化や北部九州一帯に残る大友家臣団が拠点とした山城、鶴崎踊や津久見扇子踊りなど宗麟公ゆかりの歴史・文化をテーマとした広域観光のプロモーションに取り組みます。

③市民参加による郷土愛や誇りの醸成

自らが住む地域の歴史を知ることが、郷土愛や誇りの醸成につながることから、「宗麟公まつり」や大分市歴史資料館等と連携した歴史講座など市民対象のイベントや講座を実施し、市民が本市の史実を魅力として発信する広告塔となるよう取り組みます。

また、史実に基づいた案内ができるよう市民による観光ボランティアガイドの育成・充実に取り組みます。



大友宗麟公像
「富永直樹 作」

基本施策〔3〕歴史を活かす

本市には、「亀塚古墳」や「古宮古墳」、「高崎城跡」や「元町石仏」、「府内城跡」「今市の石畳」や坂本龍馬が歩いたとされる「肥後街道」、「後藤家住宅」「池見家住宅」「帆足本家酒造蔵」をはじめとする歴史的建築物など、古代・中世・近世・近代を通じた歴史遺産が多く存在します。

また、400年にわたり豊後の地を治めた「大友氏」に関連する神社仏閣や山城、古戦場などの遺跡や、宗麟公ゆかりの鶴崎踊や聖フランシスコ・ザビエルの足跡、キリシタン・南蛮文化などの歴史・文化遺産があります。

今後は、歴史・文化遺産を観光資源として磨き上げるとともに、北部九州や県内の市町村などと連携し、歴史をテーマとした広域観光周遊ルートを造成するなどの新たな魅力の創出に取り組みます。

①歴史を活かしたテーマ別観光周遊ルートづくり

古代・中世・近世などそれぞれの時代や、山城や磨崖仏などテーマごとの観光周遊ルートを造成します。

また、広域に分布する遺跡をテーマとして、関係自治体と連携した広域観光周遊ルートを造成します。

②大友氏 400 年の歴史や遺産を活かしたプロモーション

整備の進む国指定史跡「大友氏遺跡」を核とし、大友氏 400 年の遺跡の観光資源化を図るとともに、キリシタン・南蛮文化や北部九州一帯に残る大友家臣団が拠点とした山城、鶴崎踊や津久見扇子踊りなど宗麟公ゆかりの歴史・文化をテーマとした広域観光のプロモーションに取り組みます。

③市民参加による郷土愛や誇りの醸成

自らが住む地域の歴史を知ることが、郷土愛や誇りの醸成につながることから、「宗麟公まつり」や大分市歴史資料館等と連携した歴史講座など市民対象のイベントや講座を実施し、市民が本市の史実を魅力として発信する広告塔となるよう取り組みます。

また、史実に基づいた案内ができるよう市民による観光ボランティアガイドの育成・充実に取り組みます。



大友宗麟公像
「富永直樹 作」

リーディングプロジェクト②

【お】大分市を宿泊拠点にした広域観光を推進します！

～県都に泊まっておんせん県を周遊(まわ)ろうプロジェクト～

変更前

県下の市町村と連携し、「大分都市広域圏」でモニターツアー事業などの取組を行い、各都市の観光資源を組み合わせた広域観光周遊ルートを作成していくとともに、主要な観光ルートを中心とした集中的なプロモーションなどを行います。そのなかで、PDCAサイクル※により、広域観光周遊ルートの磨き上げに取り組み、旅行商品化を図るなど、本市へのさらなる誘客につなげていきます。

※PDCAサイクルとは、企画立案(Plan)し、実践(Do)し、その結果を評価(Check)し、改善(Action)する一連のプロセスのことです。

<プロジェクトのねらい>

周辺自治体との連携による新たな魅力の創出

自治体間連携によって新たな魅力を生み出し、プロモーションしていくことが必要

【ターゲット】

- ①インバウンド（特に韓国をはじめとする東アジア重点4カ国）
- ②国内観光客

【「大分都市広域圏」構成市町】

- ①大分市 ②別府市 ③臼杵市
- ④津久見市 ⑤竹田市 ⑥豊後大野市
- ⑦由布市 ⑧日出町

【周辺自治体と比べた大分市の強み】

- ①関あじ・関さばなどの「食」
- ②大型商業施設
- ③個室（洋室）を多く有するホテルの集積
- ④交通結節点機能（中心市街地からの二次交通網） など

【周辺自治体と比べた大分市の弱み】

- ①周辺の別府市や由布市と比べた認知度不足
- ②多言語化などインバウンド対応の遅れ
- ③九州内の広域観光周遊ルートにおいて素通りされている
- ④大分空港が遠い など

<推進のステップ>

①広域観光周遊ルート案の作成

本市を起点として、周辺自治体の歴史や文化、食などの観光資源を組み合わせた広域観光周遊ルート案を作成します。

②旅行商品の造成

2017
(H29)年度

周辺自治体を周遊するモニターツアーや工場夜景を活用した別府湾でのクルージング等を試験的に行い、それらの検証を行うなかで、周遊ルートの造成を行い、旅行商品化に取り組みます。

③首都圏等でのプロモーション

「国民文化祭／全国障害者芸術・文化祭」を絶好の機会とらえ、県や周辺自治体等と連携し、首都圏等で開催されるイベント等を活用したプロモーションに取り組みます。

①広域観光周遊ルートのさらなる磨き上げ

2018
(H30)年度
以降

「大分都市広域圏」での広域観光周遊ルートの見直しを行うとともに、磨崖仏や大友家臣団が拠点とした山城などのテーマに応じて関係自治体と連携を行い、新たな広域観光周遊ルートの構築や旅行商品の考案など誘客に向けたさらなる磨き上げに取り組みます。

②国際大会開催に向けたプロモーション

「ラグビーワールドカップ2019」や「東京2020オリンピック・パラリンピック」開催に向け、外国人旅行者向けの長期滞在プランの整備や、国内外の旅行会社へのセールス等プロモーションに取り組みます。

【関連する主な基本施策】

- 基本方針1－（1）高崎山エリアの魅力を活かす （2）食を活かす （3）歴史を活かす （4）文化・芸術を活かす
（5）自然・景観・温泉を活かす （7）まつり・イベントを活かす
- 基本方針2－（1）広域連携による誘客の推進
- 基本方針3－（1）訪日外国人旅行者の誘客に向けた仕組みづくり （2）国際大会開催へ向けた取組の強化
- 基本方針4－（1）MICE誘致活動の強化
- 基本方針5－（1）戦略的な情報発信 （2）プロモーションの実施

リーディングプロジェクト②

【お】大分市を宿泊拠点にした広域観光を推進します！

～県都に泊まっておんせん県を周遊(まわ)ろうプロジェクト～

変更後

県下の市町村と連携し、「大分都市広域圏」でモニターツアー事業などの取組を行い、各都市の観光資源を組み合わせた広域観光周遊ルートを造成していくとともに、**広域連携による強力な情報発信力を活かし、主要な観光ルートを中心とした集中的なプロモーションなどを行います。**そのなかで、PDCAサイクル※により、広域観光周遊ルートの磨き上げに取り組み、旅行商品化を図るなど、本市へのさらなる誘客につなげていきます。

※PDCAサイクルとは、企画立案(Plan)し、実践(Do)し、その結果を評価(Check)し、改善(Action)する一連のプロセスのことです。

<プロジェクトのねらい>

周辺自治体との連携による新たな魅力の創出

自治体間連携によって新たな魅力を生み出し、プロモーションしていくことが必要

【ターゲット】

- ①インバウンド（特に韓国をはじめとする東アジア重点4カ国）
- ②国内観光客

【「大分都市広域圏」構成市町】

- ①大分市
- ②別府市
- ③臼杵市
- ④津久見市
- ⑤竹田市
- ⑥豊後大野市
- ⑦由布市
- ⑧日出町

【周辺自治体と比べた大分市の強み】

- ①関あじ・関さばなどの「食」
- ②大型商業施設
- ③個室（洋室）を多く有するホテルの集積
- ④交通結節点機能（中心市街地からの二次交通網） など

【周辺自治体と比べた大分市の弱み】

- ①周辺の別府市や由布市と比べた認知度不足
- ②多言語化などインバウンド対応の遅れ
- ③九州内の広域観光周遊ルートにおいて素通りされている
- ④大分空港が遠い など

<推進のステップ>

①広域観光周遊ルート案の作成

本市を起点として、周辺自治体の歴史や文化、食などの観光資源を組み合わせた広域観光周遊ルート案を作成します。

②旅行商品の造成

2017
(H29)年度

周辺自治体を周遊するモニターツアーや工場夜景を活用した別府湾でのクルージング等を試験的にを行い、それらの検証を行うなかで、周遊ルートの造成を行い、旅行商品化に取り組みます。

③首都圏等でのプロモーション

「国民文化祭／全国障害者芸術・文化祭」を絶好の機会とらえ、**県や別府市・由布市など周辺自治体等と連携し、**首都圏等で開催されるイベント等を活用したプロモーションに取り組みます。

①広域観光周遊ルートのさらなる磨き上げ

「大分都市広域圏」での広域観光周遊ルートの見直しを行うとともに、磨崖仏や大友家臣団が拠点とした山城などのテーマに応じて関係自治体と連携を行い、新たな広域観光周遊ルートの構築や旅行商品の考案など誘客に向けたさらなる磨き上げに取り組みます。

2018
(H30)年度
以降

②国際大会開催に向けたプロモーション

「ラグビーワールドカップ2019」や「東京2020オリンピック・パラリンピック」開催に向け、外国人旅行者向けの長期滞在プランの整備や、国内外の旅行会社へのセールス等プロモーションに取り組みます。

【関連する主な基本施策】

基本方針1－（1）高崎山エリアの魅力を活かす （2）食を活かす （3）歴史を活かす （4）文化・芸術を活かす
（5）自然・景観・温泉を活かす （7）まつり・イベントを活かす

基本方針2－（1）広域連携による誘客の推進

基本方針3－（1）訪日外国人旅行者の誘客に向けた仕組みづくり （2）国際大会開催へ向けた取組の強化

基本方針4－（1）MICE誘致活動の強化

基本方針5－（1）戦略的な情報発信 （2）プロモーションの実施